工事名	平成28年度 三次	ア山トンネル有料道路 橋梁修繕工事	松本市	三才山 野間沢橋		事業区分 ^株 工事区分 ^株	喬梁修繕 喬梁修繕
工事区分・工種・種別	細別	規 格 ·算 出 式	単位	当初数量	変更数量		摘要
野間沢橋			L =	41			
橋梁修繕							
舗装版取壊し	I						
	舗装版切断	t=10cm	m	66			
	舗装版掘削積込	直接掘削積込 t=10cm	m 2	197			
路面切削	I						
	路面切削工	橋面全面切削 t=4cm	m 2	300			
	防水層切削工	As+防水層 混合切削 t=1cm	m 2	300			
廃材運搬	I						
	As取壊し殻運搬		m 3	20			清水口建設 L=15.4km
	切削廃材運搬		m 3	12			IJ
	混合廃材運搬	AS+防水層 混合廃材	m 3	3			JJ
処分	費						
	処分費	As掘削廃材	t	45.3			
	処分費	As切削廃材	t	27.6			
	処分費	As+防水層	t	6.9			

工事名		平成28年度 三才	一山トンネル有料道路 橋梁修繕工事	<u> </u>			事業区分	
丁事区		細別	規 格 ・算 出 式	単位	当初数量	変更数量		摘要
床板補修コ		//H/2/1						
	 床板はつりエ							
		コンクリートはつり エ	ウォータージェットはつり 床板上部鉄筋から t=5cm	m 2	300			発動発電機20/25kVA
		排水処理工		m 2	300			
		排水回収工		日	12			
		はつり面清掃工		m 2	300			
	廃材運搬工							
		沈殿汚泥運搬工	水槽2箇所	□	2			フロンティアスピリット L=33.1km
		コンクリート殻運搬	既設床板コンクリート	m 3	19			清水口建設 L=15.4km
	処分費							
		処分費	コンクリート汚泥	m 3	4.5			
		処分費	無筋コンクリート殻	t	45.8			
F	末版コンクリートエ							
		コンクリート床板	24-8-25H(W/C≦55%) 膨張材含(デンカCSA相当)	m 3	28			
		鉄筋防錆工	エマコS200相当	m 2	203			

工事名		平成28年度 三才	山トンネル有料道路 橋梁修繕工事				事業区分析		
. , ,		1		1	.	本	工事区分格		
工事区	分·工種·種別	細別	規格・算出式	単位	当初数量	変更数量		摘	要
		補強鉄筋	SD345 D19	t	1.5				
		補強溶接金網	SD295A φ6 100×100	m 2	300				
	下面補修工								
		床版増厚工	スーパーホゼン t=18mm						
		注入剤導入路設置	樹脂導入路設置 @300	m	1050				
		下地処理	サンダーケレン工	m 2	303				
		網鉄筋取付工	D6 50×50	m 2	303				
		アンカー設置	テーパー付T型アンカー設置	本	4080				
		注入器具設置	樹脂注入器具 φ8 60L	本	1768				
		防錆材塗布	FMプライマー	m 2	303				
		ホゼン材吹付工	中塗吹付 t=18mm	m 2	303				
		樹脂注入工	超低粘度エポキシ樹脂	m 2	303				
		ホゼンコート塗布	表面仕上げ	m 2	303				
	断面修復工								
		断面修復 左官工法	床版下面・A2橋台 0.182+0.012=0.19 鉄筋防錆有、ポリマーセメント	橋	1				

工事名		平成28年度 三才	一				事業区分 枯工事区分 枯		
丁事区分		細別	規 格 •算 出 式	単位	当初数量	変更数量		摘	要
工事区分	橋台補修工								
		コンクリートはつり	t=6cm	m 2	18				
		コンクリート工	24-8-25BB (W/C ≤ 55%)	m 3	1				
		鉄筋防錆工	エマコS200相当	m 2	10				
		下地処理工	新規コンクリート面 研掃	m 2	18				
		表面保護工	シラン系含侵材 プロテクトシルCIT相当	m 2	18				
	廃材運搬工								
		コンクリート 取壊し殻運搬	無筋	m 3	1				
	処分費								
		処分費	無筋Con殼	t	2.5				
	地覆補修工								
		地覆取壊し工	既設鉄筋残し 旧高欄撤去・積込作業含む	m 3	16				
		コンクリート工	橋梁部(人力打設・型枠含む) 軽量コンクリート 24-8-15	m 3	16				
		コンクリート工	橋台部(人力打設・型枠含む) 24-8-25BB(W/C≦55%)	m 3	1				
		鉄筋防錆工	エマコS200相当	m 2	24				

工事名		平成28年度 三才	山トンネル有料道路 橋梁修繕工事	松本市	三才山 野間沢橋		事業区分 村工事区分 村	
工事区		細別	規 格 •算 出 式	単位	当初数量	変更数量	1 77	摘要
		目地工	瀝青目地板 t=10mm	m 2	1.2			
	廃材運搬工							
		コンクリート 取壊し殻運搬	無筋	m 3	16			
	処分費							
		処分費	無筋Con殼	t	36.8			
	水切工							
		水切設置工	W=25 アイドリップ相当 既設水切間詰含む	m	81			
	橋梁用防護柵							
		橋梁用高欄	H=850 B種 アルミ製 縦断勾配加工費含む	m	81			
	現場発生品運搬							
		現場発生品運搬	既設高欄 4.1t クレーン付4t、2.9t吊	旦	2			清水口建設 L=15.4km
	処分費							
		スクラップ	鉄くず、ヘビーH1	t	4.1			
	伸縮装置取替工							
		鋼製伸縮装置取替 工(補修)	ハイブリッドジョイント S-40相当品	m	15.0			

工事名	平成28年度 三才	山トンネル有料道路 橋梁修	A A			事業区分析	
		49 49 塔口	式単位	当初数量	亦再粉具	工事区分析	
工事区分·工種·種類	別 細別	規 格 •算 出	1 八 単 仏	ヨ彻剱里	変更数量		摘要
	伸縮装置付属品	地覆ジョイント 補強鉄筋	式	1			
	後打ちコンクリート	小型構造物 超速硬コンクリート σ 3h=24	4N/mm2 m 3	2			
廃材運	搬工						
	現場発生品運搬	既設伸縮装置 3.0t クレーン付4t、2.9t吊	旦	2			清水口建設 L=15.4km
	コンクリート 取壊し殻運搬	無筋	m 3	2			清水口建設 L=15.4km
処	分費						
	スクラップ	鉄くず ヘビー H1	t	3.0			
	処分費	無筋Con殻 既設後打ちコンクリート	t	5.3			
支承補	修工						
	支承防錆工	金属溶射 反力150t以下	基	6			
	沓座モルタル補修	無収縮モルタル 25kg袋	kg	25			
排水管補	修工橋梁排水管						
	排水管設置	ステンレス φ 150	m	14			
	排水管材料	材料費 ステンレス φ 150	式	1			

工事名		平成28年度 三才	山トンネル有料道路 橋梁修繕工事				事業区分 村工事区分 村	
工事区		細別	規 格 •算 出 式	単位	当初数量	変更数量		摘要
	桁塗装工	塗替塗装工						
		橋梁塗装工	清掃・水洗い(塗替え)	m 2	1130			
		橋梁塗装工	素地調整 3種ケレンA	m 2	1130			
		橋梁塗装工	下塗(2層) 弱溶剤形変性エポキシ はけ・ローラー	m 2	1130			
		橋梁塗装工	中塗 淡彩 弱溶剤形ふっ素樹脂 はけ・ローラー	m 2	1130			
		橋梁塗装工	上塗 淡彩 弱溶剤形ふっ素樹脂 はけ・ローラー	m 2	1130			
	橋面防水工							
		下地処理	新規コンクリート面 研掃	m 2	300			
		複合防水工	シガムコート相当	m 2	305			発動発電機5kVA
		成形目地工	セロシール相当 W=30 t=5	m	120			
		導水パイプ	テクノドレイン相当 φ18	m	92			
	水抜き設置工							
		スラブドレーン設置	削孔・取付含む 床板厚240~350	箇所	10			

工事名		平成28年度 三才	エ ず 放 量 山トンネル有料道路 橋梁修繕工事				事業区分 格工事区分 格		
工事区		細別	規 格 •算 出 式	単位	当初数量	変更数量		摘	要
	舗装工								
		不陸正整	補足材 t=3cm M-25	m 2	197				
		基層工	粗粒度As20 t=5cm	m 2	197				
		表層工	ポリマー改質Ⅱ型As20F t=5cm	m 2	197				
		橋面舗装	ポリマー改質Ⅱ型As20F t=6cm	m 2	300				
	区画線工								
		ペイント式区画線	加熱式 白線 実線15cm 外側線	m	125				
		ペイント式区画線	加熱式 白線 破線15cm	m	132				
		ペイント式区画線	加熱式 黄線 実線30cm 中央線	m	70				
		色替え作業	白→黄色	口	1				
仮影	设工(任意)								
	足場工								
	床版足場	足場工	主体足場·中段足場 桁下1.5m以上 H=2.15m 供用月数4か月	m 2	350				
		朝顔	両側朝顔 供用月数4か月	m 2	350				
		板張防護工	両側朝顔 供用月数4か月	m 2	350				

工事名		平成28年度 三才	一				事業区分 橋梁修繕 工事区分 橋梁修繕		
丁事区		細別	規 格 • 算 出 式	単位	当初数量	変更数量		摘要	
11 7 (2)	<u> </u>	シート張防護工	両側朝顔 供用月数4か月	m 2	350				
	地覆補修足場								
		足場•防護工	シート+板張 供用月数4か月	m 2	140				
	安全管理工								
		交通誘導警備員	交代要員あり 昼間勤務 交通誘導警備員A	人日	79				
		交通誘導警備員	交代要員あり 昼間勤務 交通誘導警備員B	人日	158				
		交通誘導警備員	交代要員なし 昼間勤務 交通誘導警備員B	人日	158				
	運搬費								
		貨物自動車運搬	29t 往復30km	台	1			L=15.1km	
	技術管理費								
		水質検査(9項目)	WJ回収水 農業用水基準分析	П	2				

平成28年度

三才山トンネル有料道路橋梁修繕工事

松本市 三才山 野間沢橋

橋梁修繕数量計算書

長野県道路公社

取壊しエ				
名称	規 格	計算式	単位	数量
舗装取壊しエ				
舗装版切断工	t=10cm	摺り付け部 7.5*2+5.3*2*2+15.0*2=66.2	m	66.2
路面切削工	t=4cm	39.95*7.5=299.625 t=1cm	m2	299.6
	防水層切削	7.5*39.95=299.625	m2	299.7
舗装取壊し工	舗装版取壊し	t=10cm (15.0*7.5-3.75*3.75*1/2*2)*2=196.875	m2	196.9
廃材運搬	As切削廃材			
	t=4cm 混合廃材	299.625*0.04=11.985	m3	11.99
	t=1cm As取壊し殻	299.625*0.01=2.996	m3	3.00
	t=10cm	196.875*0.10=19.688	m3	19.69
処分費				
	As切削廃材	11.985*2.3=27.566	t	27.6
	混合廃材運搬	2.996*2.3=6.89	t	6.9
	As掘削廃材	19.688*2.3=45.282	t	45.3

名 称 規 格 計 算 式 単位 床版はつりエ 排水槽(塩カル倉庫横2基 (5.0m*4.5m) WJはつり 床板上筋下5cm	数 量
WJはつり 床板上筋下5cm	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
平均t=5cm 7.5*39.95=299.625 m2	299.6
排水処理工 m3	299.6
排水回収工 299.625/25m2=11.985 日	12.0
はつり面清掃 m3	299.6
廃材運搬工コンクリート設運搬土砂化3cm+WJ5cm-沈殿汚泥(無筋)7.5*39.95*0.08=23.97-4.5=19.47m3沈殿汚泥水槽5.0m4.5m沈殿槽0.10m	19.47
2箇所 回	2
処分費 コンクリート殻	
コングリート版 処分費 19.47*2.35=45.75 t	45.8
汚泥処分費 5.0*4.5*0.10*2箇所=4.5m3 m3	4.5
床板補修工	
コンクリートエ 床板打ち替え 24-8-25H(W/C≦55%) 7.5*39.95*0.092=27.566 m3	27.57
1113 113 113 113 113	21.31
デンカCSA 27.566×20Kg/m3=551.32Kg Kg	551.3
エマコ200相当 図面より0.676m2/m2 鉄筋防錆工 0.676*7.5*39.95=202.55 m2	202.6
(既設鉄筋)	202.0
鉄筋補強工 施工実績より 0.005t/m2	
SD345 D19 0.005*299.6=1.498 t =	1.498
D6 10 × 10 7.5*39.95=299.625 m2	299.6

下面補修工				
名称	規格	計 算 式	単位	数量
下面補修工	スーパーホゼン	図面より	m2	303.0
	注入材導入路設置工	300mm間隔	m	1050.4
	下地処理工	サンダーケレン	m2	303.0
	網鉄筋取付工	D6 50mm×50mm テーパー付T型アンカー	m2	303.0
	アンカー設置エ		本	4080
	樹脂注入器具設置	φ 8 × 60	本	1768.0
	防錆材塗布工	FMプライマー 中塗	m2	303.0
	ホゼン吹付エ	t=18mm	m2	303.0
	樹脂注入工 ホゼンコート塗布	超低粘度エポキシ樹脂	m2	303.0
	表面仕上げ	耐蝕性ライニングコート材	m2	303.0
断面補修工	断面修復	鉄筋防錆処理あり L=39.95 図面より		
床板下面	左官工法	3.03m2*0.16m=0.182m3	m3	0.18
A2橋台	断面修復 左官工法	鉄筋防錆処理あり A2橋台 図面より 0.20m2*0.06m=0.012m3	m3	0.01
		0.182+0.012=0.194	m3	0.2
橋台補修工		図面より はつり t=6cm		
A1橋台	コンクリートはつり		m2	17.7
	鉄筋防錆工	エマコS200相当	m2	10.4
	コンクリートエ	24-8-25BB(W/C≦55%) 17.74*0.06=	m3	1.06
	下地処理工	新規コンクリートレイタンス研掃	m2	17.7
	表面保護工	シラン系含侵材塗布(プロテクトシルCIN相当)	m2	17.7
廃材運搬工				
	殼運搬	コンクリートはつり殻 無筋	m3	1.06
処分費				
	処分費	コンクリート殻 1.06*2.35=2.491	t	2.5

地覆補修・高	懶 以 晉•伊稲	· 装直 以 督		
名 称	規格	計算式	単位	数量
地覆補修工		既設鉄筋の欠損部確認、状況により添筋を行う		
	コンクリート取壊し 無筋	既設鉄筋残し (0.6*0.3)*(1.4+40.6+1.5)*2=15.66	m3	15.66
	鉄筋防錆工	エマコS200相当 40.6*2*0.294=23.873	m2	23.9
	コンクリートエ 橋台部	24-8-25BB ロス率0.05 (0.6*0.322)*(1.4+1.5)*2=1.121*1.05=1.177	m3	1.18
	コンクリートエ 橋梁部	軽量コンクリート 24-8-15BB(W/C≦55%) ロス率0.05 (0.6*0.322)*40.6*2=15.688*1.05=16.472	m3	16.47
	型枠	(0.322+0.322)*(1.4+40.6+1.5)*2=56.028	m2	56.0
	目地	(0.6*0.322)*6箇所=1.159 無效	m2	1.2
廃材運搬	殻運搬	無筋 15.66	m3	15.7
	処分費	15.66*2.35=36.80	t	36.8
水切設置工		1911 L.J. I		
	既設間詰工	ポリマーセメント 1/2*(0.03*0.02)*40.6*2=0.024	m3	0.02
	水切設置工	軟質PVC アイドリップ相当品 40.6*2=81.2	m	81.2
防護柵取替工				
	アルミ高欄設置	B種 H=850mm 40.7+40.7=81.4	m	81.4
	高欄撤去	地覆取壊しに含む		
	発生材運搬	鋼製(既設防護柵) 4.085t (旧図面より) クレーン付4.9t 2回	回	2.0
	スクラップ	鉄くず ヘビーH1 4.085t	t	4.1
伸縮装置取替工				
	伸縮装置取替	既設:鋼製フィンガー 取替:ハイブリッド S40相当 A1 L=7.51 A2 L=7.50 15.01m	m	15.0
	付属品	地覆用ジョイント、補強鉄筋 図面より 超速硬コンクリート 3h 24N/mm	式	1.0
	後打コンクリート		m3	2.27
	発生材運搬	成設 (中稲)	回	1.0
	殼運搬	無朋(成改後打6コングリート部) 2.274m3 鉄くず ヘビーH1	m3	2.27
	スクラップ	L=15.01*200kg/m =3002kg	t	3.0
	処分費	無筋(既設後打ちコンクリート部) 2.274*2.35=5.34t	t	5.3

支承補修•排	水管取替•桁			5
名 称	規格	計算式	単位	数量
支承補修工				
	支承防錆工	金属溶射 反力110t N=6	箇所	6
	沓座モルタル補修	無収縮モルタル 25kg袋 1袋 図面より 0.01m3*1875kg/m3=18kg	kg	25
排水管補修工	排水管設置工	ステンレス鋼管 <i>φ</i> 150 2.760+2.752*4=13.768	m	13.8
		a=2760 b∼e=(800+796+1156)=2752	箇所	5.0
析塗装工	塗替塗装工	塗装面積 図面より 1128.94 RC-Ⅲ 塗装系 はけ・ローラー		
		塩分等除去	m2	1128.9
	素地調整	ワイヤーブラシ、ケレン 3種A 上途	m2	1128.9
	塗装	上空 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 中塗	m2	1128.9
		7 至 弱溶剤形フッ素樹脂塗料 下塗	m2	1128.9
		弱溶剤形フッ素樹脂塗料	m2	1128.9

橋面防水工				(
名 称	規格	計算式	単位	数量
橋面防水工		塗膜系複合防水(ジガムコート相当品)		
	下地処理工	新規床板コンクリート研磨(レイタンス除去) 39.95*7.5=299.625	m2	299.6
	防水層	端部立ち上げ(7.50+7.50+39.95+39.95)*0.07=5.694 39.95*7.5+5.694=305.319	m2	305.3
	導水パイプ		m	91.8
	成形目地材	低弾性ゴム t=5 セロシール相当 39.95*3=119.85	m2	119.9
水抜き設置工		図面より 標3タイプ(床版厚240~350)		
	スラブドレーン設置		箇所	10
	フレキシブルチューブ	Φ 20 ステンレス	m	28.7
	パイラック	N=10 アンカー含む	箇所	10
	ステンレスサドル		箇所	4
	削孔	φ100 L=50mm	孔	10
	削孔	φ 50 L=240mm	孔	10

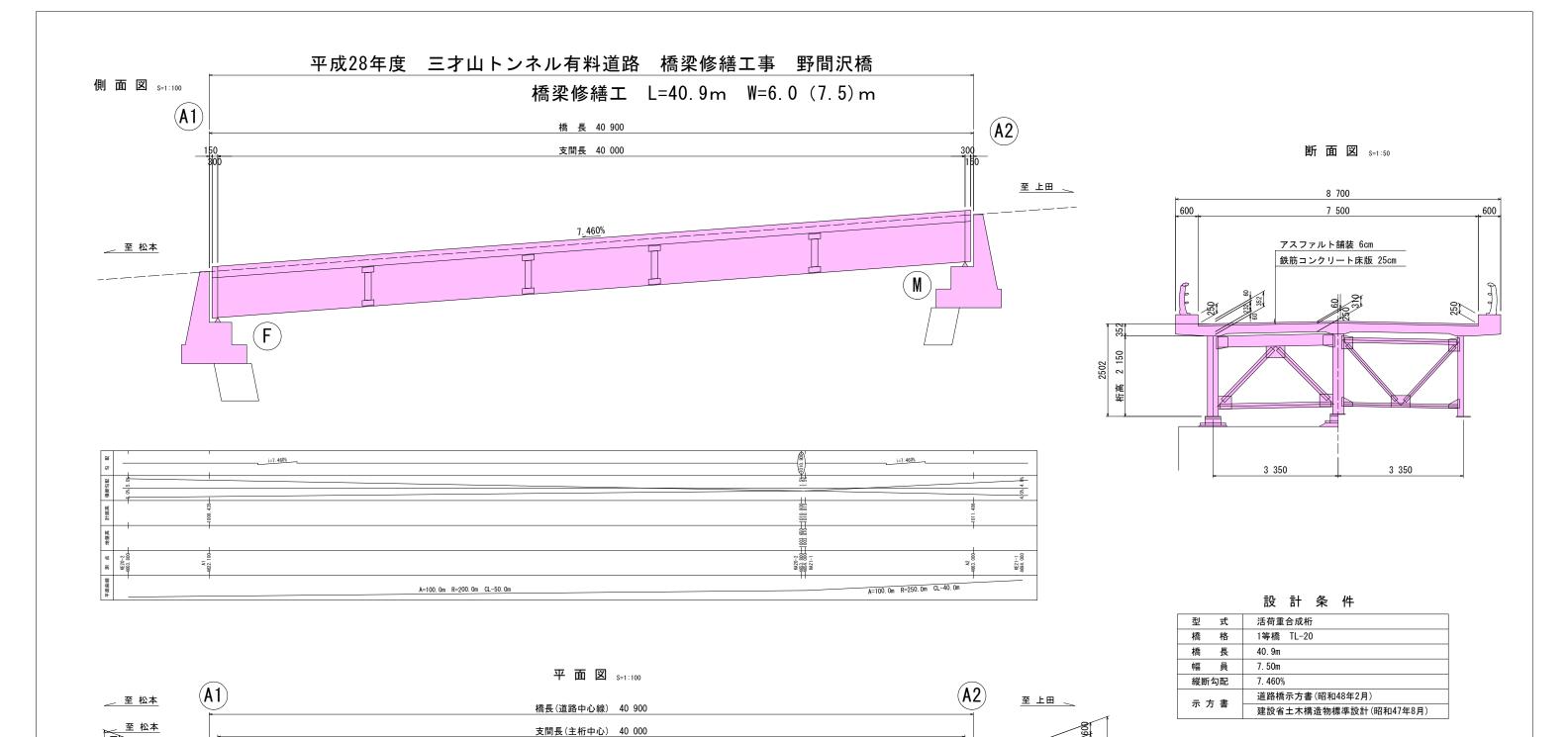
舗装工・区画	線工			7
名称	規格	計算式	単位	数量
路盤工				
	不陸正整 t=3cm	補足材 M-25 (15.0*7.5-3.75*3.75*1/2*2)*2=196.875	m2	196.9
舗装工				
	基層工 t=5cm	粗粒度As20 (15.0*7.5-3.75*3.75*1/2*2)*2=196.875	m2	196.9
	表層工 t=5cm	密粒(20F)ポリマー改質 Ⅱ 型 (15.0*7.5-3.75*3.75*1/2*2)*2=196.875	m2	299.6
橋面舗装工	表層工 t=6cm	密粒(20F)ポリマー改質 Ⅱ 型 7.5*39.95=299.625	m2	299.6
区画線工	ペイント式	时 / 周1 6 台		
	ペイント式 実線 15cm ペイント式	外側線 39.95*2+11.25*2*2=124.9 外側線	m	124.9
	ペイント式 破線 15cm ペイント式	39.95*2+15.0*2+11.25*2=132.4 中央線	m	132.4
	黄線 30cm ペイント	マスラット 39.95+15.0*2=69.95	m	70.0
	色替え作業		□	1.0

一般計算書

種 別:床版下面増厚工 ブロック:床版補修工 区 分: (A1-A2径間)

細別/規格	第 式 / 図	数量
樹脂導入路設置エ カッターエ (深さ7~8mm)	中間床版 幅 B=2.950m 張出し床版 幅 Bs=0.800m (平均幅)	
	① L1= 40.400×10(行/区間)×2区間 = 808.00 m ② L2= 40.400× 3(行/区間)×2区間 = 242.40 m	
下地処理工 サンダーケレン	$\Sigma L = 808.00 + 242.40 = 1050.40 \text{ m}$	1050.4 m
	① A1= $40.400 \times 2.950 \times 2$ 区間 = 238.36 m2 ② A2= $40.400 \times 0.800 \times 2$ 区間 = 64.64 m2 Σ A=238.36+64.64=303.00 m2	303.0 m^2
網鉄筋取付工 D6×50mm, D6×50mm	① A1= 40.400×2.950×2区間 = 238.36 m2	500. V III
	② A2= $40.400 \times 0.800 \times 2 \times 10^{-2} = 64.64 \text{ m}$ $\Sigma A = 238.36 + 64.64 = 303.00 \text{ m}$	$303.0 \mathrm{m}^2$
アンカー打設工 テーパー付きT型アンカー ネジ式	① n1= 40.400 /0.300(ピッチ)+1 = 136 本	
(φ8×60mm)	N1= 136本×11列×2区間 = 2992 本 ② n2= 40.400 /0.300(ピッチ)+1 = 136 本 N2= 136本× 4列×2区間 = 1088 本	
	$\Sigma N = 2992 + 1088 = 4080 $	4080 本
樹脂注入器具 打設工 テーパー付きT型 (φ8×60Lmm)	① n1= 40.400 /0.600(t° yf) +1 = 68 本 N1 = 68本×5(列/区間)×2区間= 680 本 N1'= 68本×5(列/区間)×2区間= 680 本 ② n2= 40.400 /0.600(t° yf) +1 = 68 本 N2 = 68本×2(列/区間)×2区間= 272 本 N2'= 68本×1(列/区間)×2区間= 136 本	
	$\Sigma N = 680 + 680 + 272 + 136 = 1768 $	1768 本

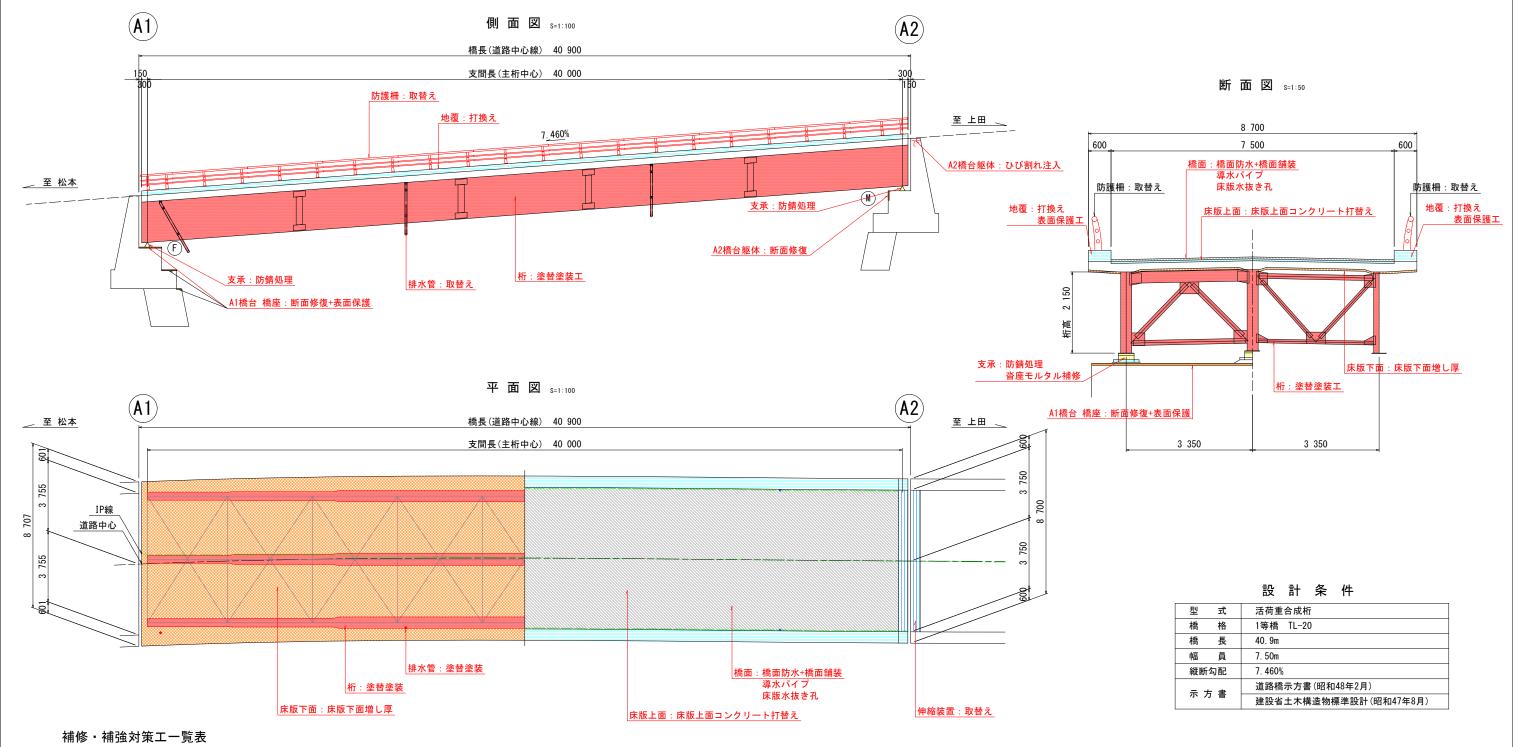
細別/規格	第 式 / 図	数量
防錆材塗布工		
プ。ライマー		
	① A1= 40.400×2.950×2区間 = 238.36 m2	
	② A2= 40.400×0.800×2区間 = 64.64 m2	
		9
	$\Sigma A = 238.36 + 64.64 = 303.00 \text{ m2}$	303.0 m^2
ホゼン材#10 吹付工		
t=18mm	① A1= 40.400×2.950×2区間 = 238.36 m2	
	② A2= 40.400×0.800×2区間 = 64.64 m2	
	$\Sigma A = 238.36 + 64.64 = 303.00 \text{ m2}$	303.0 m^2
ひび割れ注入工		
超低粘度エポキシ	① A1= 40.400×2.950×2区間 = 238.36 m2	
樹脂	② A2= 40.400×0.800×2区間 = 64.64 m2	
	$\Sigma A = 238.36 + 64.64 = 303.00 \text{ m}2$	$303.0 \mathrm{m}^2$
表面仕上げ工		
ホゼン材#1塗布	① A1= 40.400×2.950×2区間 = 238.36 m2	
(コート材)	② A2= 40.400×0.800×2区間 = 64.64 m2	
		0
	$\Sigma A = 238.36 + 64.64 = 303.00 \text{ m}2$	303.0 m^2



道路中心

					実	爬施	図		
平成28年度 橋梁修繕工事									
番号	1/18	橋	梁一般	図	縮尺	区	示		
Ξ	三才山トンネル有料道路(国道254号) 松本市三才山 野間沢橋								
所長		課長	長 照査 設計						
		長野	県道	道路:	公 社				
#0 #+=	0-24	(有) 光コンサルタント		管理技術者		山崎 賢一			
exal:	K 11	(8) 20=2	,,,,,,	照査技	術者	西澤 正勝			
	主任技術者								
				主任技術者					

野間沢橋 補修・補強工一般図



计会排 生物	対象構造物 箇所		対領	養工	目的・効果	排放 中容		
刈多悔垣彻	刈水伸迫物 固川	部位	補修	補強	日的・効果	補修内容		
		舗装・防水工	0	_	舗装改善・防水性の確保	防水層(複合防水)・アスファルト舗装打替え		
	橋面	伸縮装置	0	_	止水性の確保・段差の解消	伸縮装置交換		
	作品田	高欄	0	_	構造改善	高欄(アルミ製)取替え		
		地覆	0	_	耐力の回復・劣化因子の遮断	地覆全面補修(軽量コンクリート)		
上部工	J	床版上面	0	_	床版機能の回復・ひび割れ防止	床版上面補修工		
		床版下面	0	0	ひび割れ補修・耐荷力向上	床版下面増し厚工		
	橋体	排水装置	0	_	排水機能の確保	排水管補修		
		桁	0	_	防食機能の回復	塗替え塗装工		
		支承	0	_	防食機能の回復・うき補修	金属溶射・沓座モルタル補修		
下部工	橋台	橋台	0	_	橋座面補修・劣化因子の遮断	断面修復工・表面保護工		

実施図

	平成28年度 橋梁修繕工事								
番号	2/18	補修・	補強工	一般図	縮尺	区	示		
_=	三才山トンネル有料道路(国道254号) 松本市三才山 野間沢橋 他2橋								
所長		課長		照査		設計			
		長野	県i	直路	公 社				
		(de) de - 1		管理技	術者	山崎	N-		
設計	快社	(有) 光コンサルタント		照查技術者		西澤 正勝			
主任技術者									
				主任技	術者				

野間沢橋 橋面補修工図(1) (A2)(A1)___ 至 松本 至 上田 _ 橋長(道路中心線) 40 900 503 325 325 500 39950 すり付区間 15 000 すり付区間 15 000 3750 11 250 6500 6770 8880 8800 9000 11 250 既設桝 床版水抜き孔 既設桝 床版水抜き孔 3750 床版水抜き孔 床版水抜き孔 L=39.95m 、導水パイプ 床版水抜き孔 導水パイプ 床版水抜き孔 床版水抜き孔 床版水抜き孔 導水パイプ 床版水抜き孔 床版水抜き孔 L=39.95m, 3750 5300 既設桝 既設桝 既設桝 6500 6500 6500 6500 6500 6770 防水工-舗装工施工手順 床版防水層構成図 防水層端部処理図 S = 1:5 導水管設置詳細図 S = 1:20 表層:ポリマー改質Ⅱ型密粒度(20F) 道路部舗装構成 S = 1:20 開始 導水パイプ 保護骨材(硅砂4号) 「φ18 アスファルト舗装 (密粒度アスコン(20F) 既設桝側面削孔 導水パイプ 改質7スファルト塗膜防水材(シガムコート) (ガウジング等) 表層:改質Ⅱ型密粒度As20F 5cm t=60mm 改質Ⅱ型 7スファルトコーティンク゚硅砂(シガムサンド) 舗装切削 1m²程度切削し 防水層 基層:粗粒As20 5cm 防水層の位置を確認する 床版接着材兼防水層(シガムプライマー) 下地処理 (コンクリート研掃) コンクリート立上り部 防水層切削 地覆 既設床版の状況を確認 床版 不陸整正(M25) 床版上面補修工 補足材 3cm 床 版 防水層設置 床版水抜き孔設置 橋面補修工数量表 数量 種別 - 細別 規 格 単位 算 導水パイプ設置 $L=7.5 \times 2+5.3 \times 2 \times 2+15.0 \times 2$ 舗装版切断(すり付け区間) 切断深さ t=10cm 66. 2 $A=39.95 \times 7.5$ 299.6 路面切削 アスファルト舗装 t=5cm 成型目地設置 299.6 舗装版撤去 混合廃材切削 As+防水層 t=1cm $A=39.95 \times 7.5$ 舗装取壊(すり付け区間) アスファルト舗装 t=10cm $A = (15.00 \times 7.5 - 3.75 \times 3.75 \times 1/2 \times 2) \times 2$ 196. 9 舗装工 橋面防水層 m² A=39.95×7.5 端部 (7.5+7.5+39.95+39.95) ×0.06 複合防水 305.3 区画線工 橋面防水工 導水パイプ L= (39.95×2+7.5) ×1.05 (ロス5%) 91.8 φ18 成型目地材 $L=39.95 \times 3$ 199.9 t=5 実施図 終了 密粒度アスコン (20F) t=6cm 橋面舗装 $A=39.95 \times 7.5$ 299.6 平成28年度 橋梁修繕工事 密粒度アスコン (20F) t=5cm すり付け舗装 表層 $A = (15.00 \times 7.5 - 3.75 \times 3.75 \times 1/2 \times 2) \times 2$ 196. 9 番号 3/18 橋面補修図(1) 縮尺 図示 改質Ⅱ型 すり付け舗装 基層 粗粒度As20 t=5cm m^2 A= (15. 00 × 7. 5-3. 75 × 3. 75 × 1/2 × 2) × 2 196. 9 (国)254号 三才山トンネル有料道路 松本市三才山 野間沢橋 他2橋 舗装工 M25 $V = (15.00 \times 7.5 - 3.75 \times 3.75 \times 1/2 \times 2) \times 2 \times 0.03$ 5. 9 すり付け舗装 不陸整正 課長 照査 設計 所長 区画線工(外側線) 車載式 溶剤型 実線 15cm L=39. $95 \times 2+11$. $25 \times 2 \times 2$ 124. 9 三才山トンネル有料道路管理事務所 管理技術者 山崎 賢一 区画線工(外側線 破線) 車載式 溶剤型 破線 15cm L=39. $95 \times 2+15$. $0 \times 2+11$. 25×2 132. 4 【特記事項】 照查技術者 西澤 正勝 1. 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。 主任技術者 区画線工(中央線) 車載式 溶剤型 実線 30cm m L=39. 95+15. 0 × 2 70.0 2. 床版水抜き孔施工時、床版に削孔を行うが、鉄筋探査を行い、 主任技術者 A3版出力の場合、縮尺は50%となる。

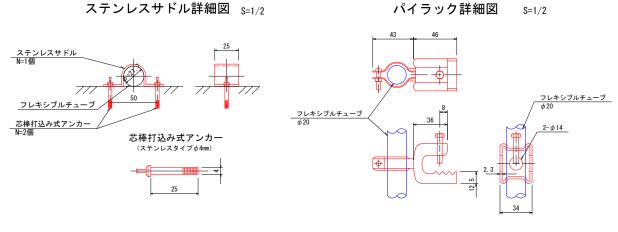
既設鉄筋の位置をさけて施工すること。

野間沢橋 橋面補修工図(2)

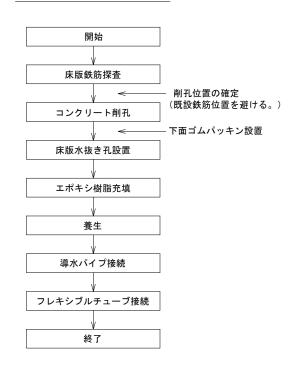
床版水抜き孔詳細図

支点部側面図 S=1/50 標準部断面図 S=1/10 舗装 地覆 床版 <u>フランジ</u> 床版水抜きパイプ 対応床版厚240~350タイプ √フレキシブルチューブ φ20 パイラック ステンレスサドル パイラック A1橋台 (谷側) 8 突出長

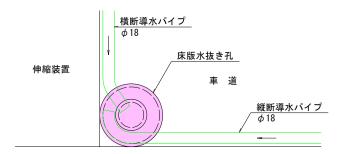
ステンレスサドル詳細図 S=1/2



床版水抜き孔施工手順



導水管接続部詳細図 S=1/3



地 覆

床版水抜き孔設置工数量表

エ 種	種別−細別	規 格	単位	算 式	数量
	床版水抜きパイプ	既設橋取付タイプ	個	N=10	10
	フレキシブルチューブ	φ20	m	$L=(2.15+0.5)\times 6+(2.3+0.9)\times 4$	28. 7
橋面防水工	パイラック		組	N=10	10
	ステンレスサドル		組	N=4	4
	心棒打込み式アンカー	ステンレスサドル付属	個	N=8	8
	コンクリート削孔	φ100mm L=50mm	孔	N=10	10
	コンクリート削孔	φ50mm L=240mm	孔	N=10	10

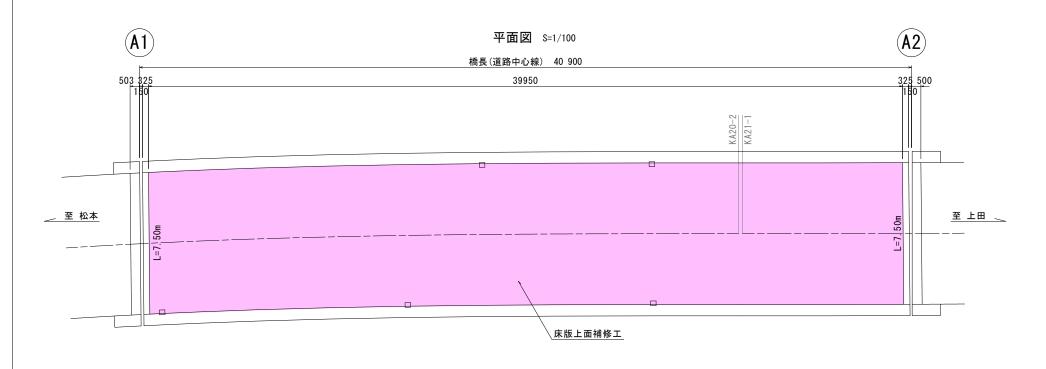
【特記事項】

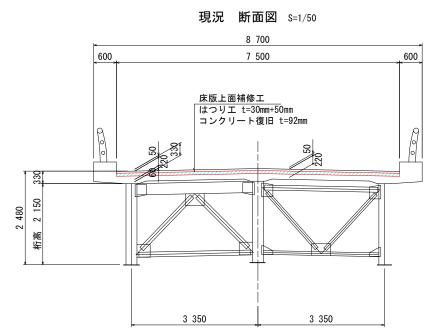
- 1. 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。 2. 床版水抜き孔施工時、床版に削孔を行うが、鉄筋探査を行い、 既設鉄筋の位置をさけて施工すること。

実施図

4		平成	28年月	ま 橋	梁修絲	半工事			
8		番号	4/18	橋面	補修	図(2)	縮尺	Z	示
10		_([トン2 野間沢		· [料道] 他2橋	路_
10		所長		課長		照査		設計	
		三才山トンネル有料道路管理事務所							
		設計会社		(有) 光コンサルタント		管理技術者		山崎	賢-
	設計芸红		(音) ルコンテルテント		照査技術者		西澤	正勝	
						主任技	術者		
A3版出力	の場合、縮尺は50%となる。					主任技	術者		

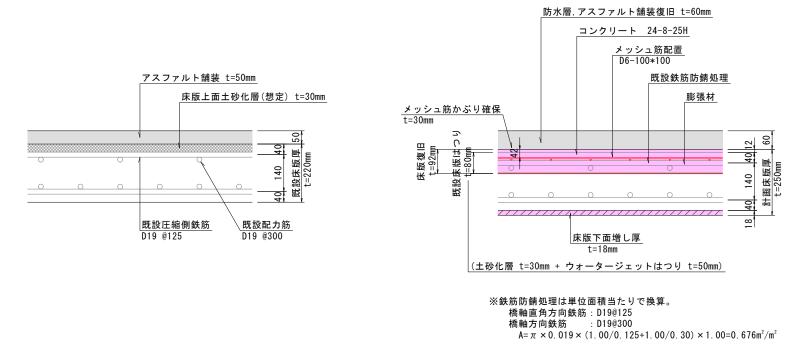
野間沢橋 橋面補修工図(3)



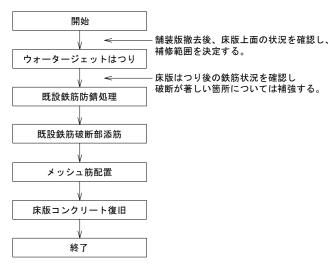


床版現況断面

床版補修断面



床版上面補修工施工手順



床版上面補修工数量表

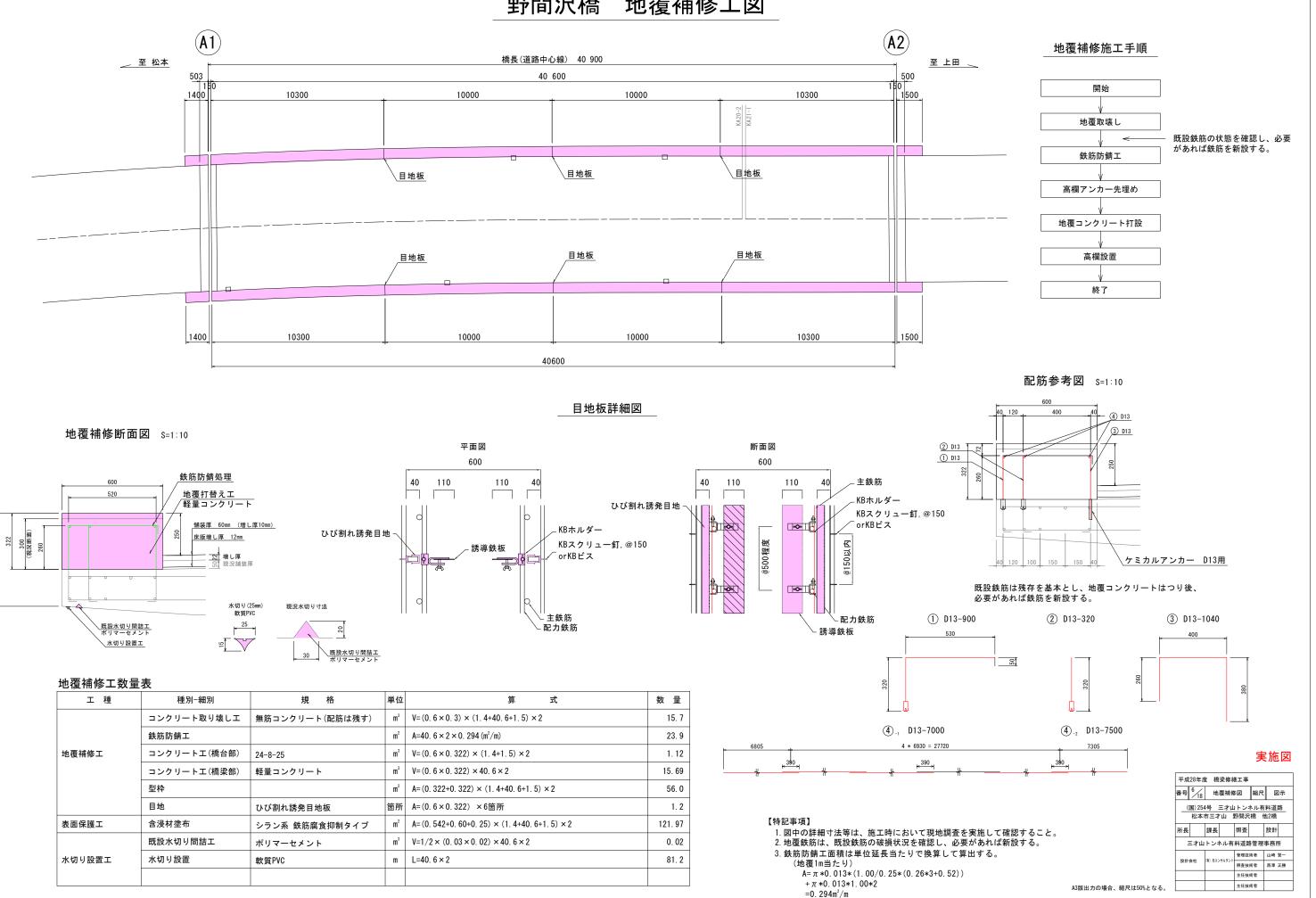
	<u> </u>				
工種	種別-細別	規格	単位	算 式	数量
	防水層剥ぎ取り工		m ²	A=7. 5 × 39. 95	299. 6
	コンクリートはつりエ	ウォータージェット t=50mm	m ²	A=7. 5 × 39. 95	299. 6
床版上面打替え工	廃材処理	コンクリート殻	m ³	V=7. 5 × 39. 95 × (0. 03+0. 05)	24. 0
	コンクリート打替えエ	24-8-25H	m³	V=7. 5 × 39. 95 × 0. 092	27. 57
	膨張材	デンカCSA相当	m ²	A=7. 5 × 39. 95	299. 6
	鉄筋防錆処理	エマコ200相当	m ²	A=0. 676 × 7. 5 × 39. 95	202. 6
	鉄筋金網	SD295A D6-100*100メッシュ	m ²	A=7. 5 × 39. 95	299. 6

- 1.舗装撤去後に床版の状況を確認し、床版はつり前に監督員と立会いを行うものとする。
- その上で、施工内容(範囲)に変更が必要となる場合は、監督員と協議するものとする。 2. 鉄筋のかぶりは、設計図で30mmを確認しているが、切断工・はつり工において鉄筋に 悪影響を与えないように十分留意すること。

	平成	28年月	隻 橋	梁修絲	善工事			
	番号	5/18	橋面	補修	図(3)	縮尺	这	示
	([トン			路
	所長		課長		照査		設計	
	三才山トンネル有料道路管理事務所							Г
	設計会社		(有) 光コンサルタント		管理技術者		山崎 賢一	
					照查技術者		西澤 正勝	
					主任技	術者		
					主任技	術者		

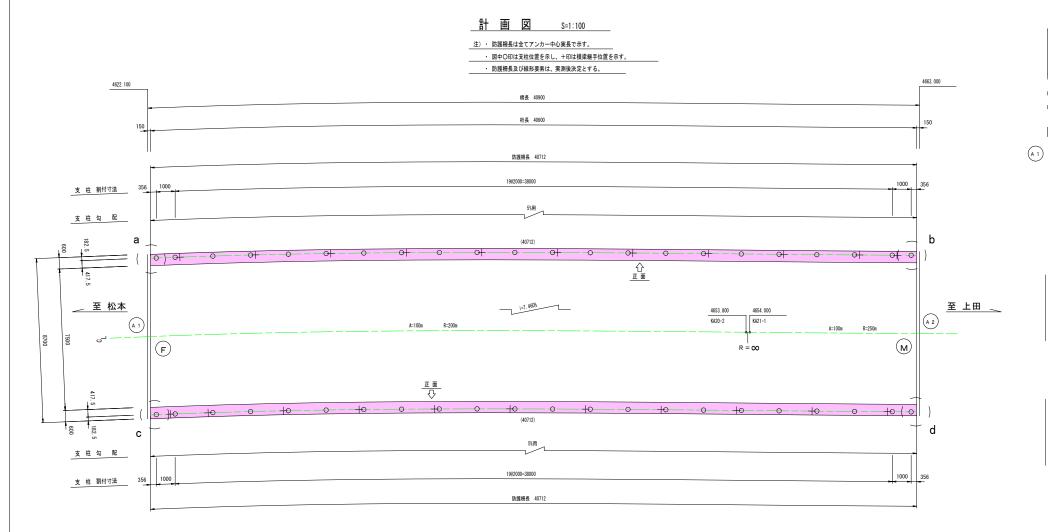
実施図

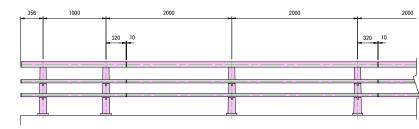
野間沢橋 地覆補修工図



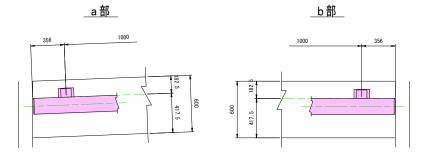
野間沢橋 高欄補修工図

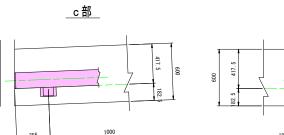
正面展開図 S=1:30





端末詳細図 S=1:20





		 8	009	417.5	
356	1000	1825		182.5	 1000

部材数量表						
品 名	寸 法 (mm)	単位	数量	単位質量(kg/単位)	質量(kg)	材質
支 柱	H-210x120x8. 0	本	44	10.16	447.04	AC7A相当
主要横梁	170x85x3.5	m	81. 424	4. 89	398.16	A6061S-T6
下 段 横 梁	100x50x3	"	162.848	2. 18	355. 01	A6061S-T6
主要スリーブ	L340	個	22	1. 59	34. 98	A6061S-T6
下段スリーブ	L300	"	44	0. 63	27. 72	"
板ナット	L120	枚	88	0.12	10.56	A6061S-T6
甲丸ボルト	M16x35	セット	88	0.11	9.68	A2-70 SUS
"	M12x30	"	176	0.05	8.80	A2-50 SUS
六角ボルト	M16x50	"	88	0.17	14.96	11
"	M12x22	"	176	0.05	8.80	A2-70 SUS
アンカーボルト	M20x300	セット	88	0.89	78. 32	SCM435
"	M20x220	"	88	0. 68	59.84	強度区分4.6以上
アンカープレート	PL-100x200x12	枚	44	1. 88	82.72	SS400
·	(R1 A2A m 44 LI)			소 위 참 문	1536 50	ke

支柱図 S=1:10		
SNB-43ER-85	_ 連 結 部	-
170 17	320 割10 主要スリーブ A6061S-16 40 80 100 80 40 340 FRスリーブ A6061S-16	エンドキャップ (主要機業用) アルミ合金舗物 ―――――――――――――――――――――――――――――――――――
アンカーボルト 独位区分 4 6以上 溶散車能メッキ処理 200 315 アンカーボルト 独位の200 SCMMS 3-ナットはS4SC (f) 溶融亜鉛メッキ処理 182.5 417.5 溶融亜鉛メッキ処理	マンカーブレート SS 400 SS 400 SB 200 SB 20	アンカーナット締め付け部 前部ナット材質: 3450 (H) 第20用スプリングワッシャー SS 400 深趣重鉛メッキ処理 海融重鉛メッキ処理 独立ファシャー 外径56内模23xt6 5450 (H)
-		溶脱亜鉛メッキ処理

実施図

d部

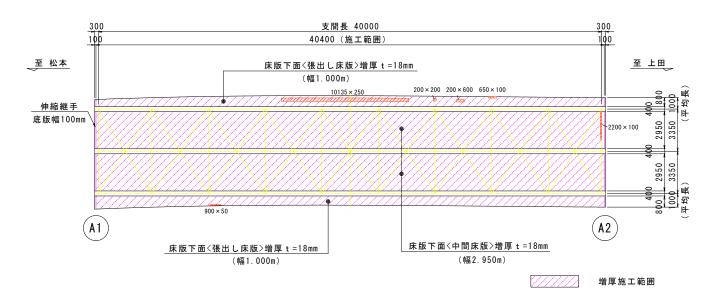
1. ‡	表面仕様
	主要横梁、下段横梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、
	支柱は塗装処理、ポルト(アンカーを除く)はステンカラー及びシルバー色の時を除き着色処理とし、
	色調は別途打合せとする。
2. 7	本防護柵の設計仕様は、(社)日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成
	「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」(平成22年10月)による。
3. 7	本防護柵の支柱は、レベル用を示し、0~2.5%勾配に使用とする。
	5%用は2.5%~7.5%勾配に使用とする。

平成28年度 橋梁修繕工事 番号 7/18 高欄補修図 縮尺 図示 (国)254号 三才山トンネル有料道路 松本市三才山 野間沢橋 他2橋 所長 課長 照査 設計 三才山トンネル有料道路管理事務所 有) 光コンザルタント 照査技術者 四澤 正勝 主任技術者 主任技術者

野間沢橋 伸縮装置補修図 取付断面図 S=1:5 S-40 DG [誘導板両側装着] 誘導板詳細図 断 面 図 S=1:40 $PL-80\times19\times250$ 575 400 ※()内はA1側を示す。 L側 R側 (E2) D16 × 30 600 (601) 600 (601) 7500 (7510) 150 100 3750 (3755) 3750 (3755) <u>超速硬コンクリート</u> 3h= 24N/mm ² E1) D16×L 誘導板 t=19mm アスファルト舗装 60mm 鉄<u>筋コンクリート床版 250mm</u> ハイブリッドジョイント S-40 DG H=150 [誘導板両側装着] <u>カバープ</u>レート カバープレート 地覆用ジョイント 地覆用ジョイント T1)差し筋アンカーD16 T1) 差し筋アンカーD16 地覆用ジョイント断面図 S=1:10 橋台側 シール材 製品平面図 S=1:10 シール材 S-40 DG [誘導板両側装着] <u>バックアッ</u>プ材 地覆部止水処理図 カバープレート詳細図 S=1:15 S=1:15 誘導板 ※壁高欄を切り欠いてカバーを埋め込むこと。 6 6 90 PL-80 × 19 × 250 車両進行方向 150 車道部 カバープレート すり割り付き皿ボルト M16 カットアンカー すり割り付き皿ボルト 4-17キリ φ33.4 M16用 カットアンカー M16 63 緩み止め加工 (メック加工) ト゚リル径 22.0mm コンクリート部孔深さ 72mm 材料表 ハイブリッドジョイント 地覆用ジョイント 品 名 単 位 A 1 A 2 合 計 備考 ハイブリッドジョイント S-40 DG 167 x 150h x I 7 510 7 500 15.010 36.8kg/m [誘導板両側装着] 切り欠き幅 130 120 120 誘導板 PL-80 × 19 × 250 31 62 個 31 240 2-PL 380×9t×840 11 - D16 × I kg 128.9 128. 7 257 6 補強鉄筋 D16 × 300 本 18 36 W = 16.8 kg 18 W = 380.5kg 差し筋アンカー D16 × 200 170 170 340 W = 106.1 kg 超速硬コンクリート 3h= 24N/mm² 2. 274 1. 138 1. 136 平面図 _{S=1:100} 地覆用ジョイント 個 カバープレート 溶融亜鉛メッキ HDZ55 PL 380×9t×840 4 枚 カットアンカー M16×63 メッキ HDZ35 すり割り付き皿ボルト M16用 個 16 メッキ HDZ35 橋長(道路中心線) 40900 既設鋼製ジョイント撤去 7. 510 7. 500 15. 010 200kg/m ∟側 鉄筋加工図 実施図 ハイブリッドジョイント ハイブリッドジョイント S-40 DG H=150 [誘導板両側装着] 道路中心 (E1) 11 - D16 × L (E2) 170 - D16 × 300 (T1) 差し筋アンカーD16 平成28年度 橋梁修繕工事 番号 8 18 伸縮装置補修図 縮尺 図示 (1) アンカーボディ (国)254号 三才山トンネル有料道路 松本市三才山 野間沢橋 他2橋 縦断勾配 7.460% 課長 照査 設計 三才山トンネル有料道路管理事務所 管理技術者 山崎 賢一 A 1 7510 照查技術者 西澤 正勝 A 2 主任技術者 主任技術者 A3版出力の場合、縮尺は50%となる。 (A2) <u>至上田</u> ____ 至 松本 (A1) R側

野間沢橋 床版補修工図(1)

床版下面補修位置図 S=1:150



断面修復工の手順

カッターエ

鉄筋錆除去

防錆処理

プライマー

断面修復工

終了

床版下面増厚エへ

- 修復範囲調査

1 900

2 10135

3 200

4 200

6 2200

슴 計

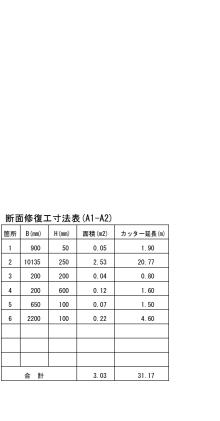
50

250

200

600

100



床版下面補修工数量表

断面修復工詳細図

平面図

側面図

床版下面増厚工を行う。

カッターエ 深さ10mm

カッターエ 深さ10mm

・床版張出し部に浮き及び欠損が確認されるため、断面修復工を行った後、

鉄筋防錆工

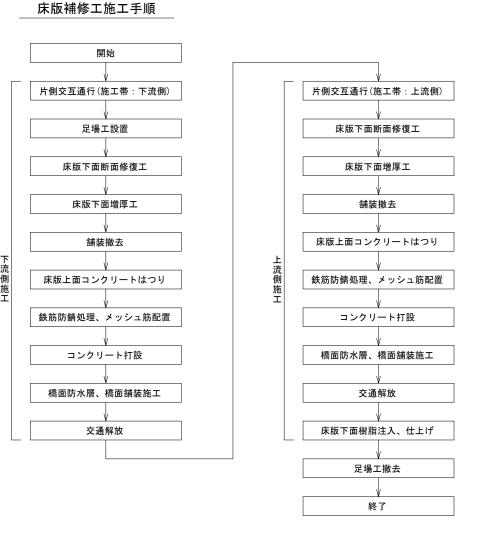
下地処理

打継用プライマー

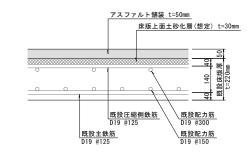
ポリマーセメントモルタル

工種	種別-細別	規 格	単位	算 式	数量
	カッターエ	深さ10mm	m	L=31. 17	31. 17
床版下面断面修復工	はつりエ	はつり深さ 60mm程度	m³	V=3. 03 × 0. 06 (t)	0. 182
(鉄筋防錆処理)	鉄筋防錆工	エマコ200相当	m²	$A=3.03\times0.565 (m^2/m^2)$	1. 7
	断面修復工	ポリマーセメント	箇所	V=3. 03 × 0. 06 (t)	0. 182
床版下面増厚工		ホゼン材吹付	m²	A=303. 0	303. 0

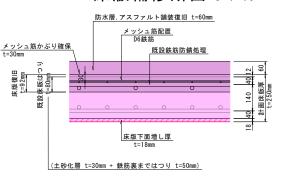
断面図 S=1:50 8700 600 600 7500 アスファルト舗装 t=60mm 000 鉄筋コンクリート床版 t=250mm 床版補修工〈張出し床版〉 (下面増厚工法) 床版補修工〈中間床版〉 (下面增厚工法) 800 400 2950 400 2950 400 800 1000 3350 3350 1000



床版現況断面 S=1:10



床版補修断面 S=1:10



実施図

平成28年度 橋梁修繕工事 番号 9 18 床版補修工図(1) 縮尺 図示 (国)254号 三才山トンネル有料道路 松本市三才山 野間沢橋 他2橋 課長 照査 設計 所長 三才山トンネル有料道路管理事務所 管理技術者 山崎 賢一 照查技術者 西澤 正勝 主任技術者 主任技術者

【特記事項】

- 1. 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。
- 2. 鉄筋防錆工面積は単位面積当たりで換算して算出する。配筋は、 縦D13@125,横D19@250と仮定して、以下のとおり算出した。

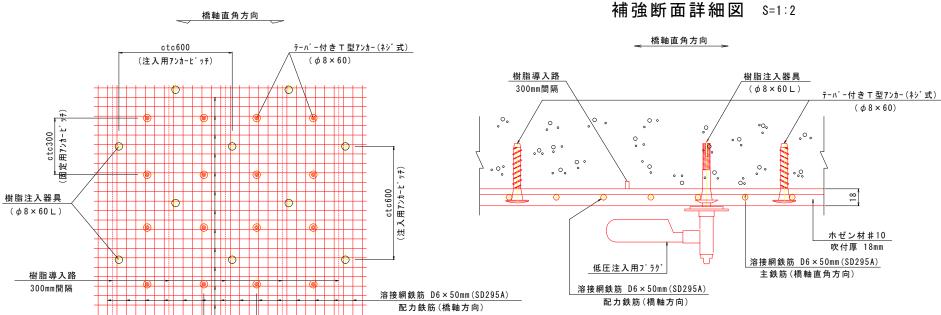
 $+\pi *0.019*(1.00/0.250*1.00)=0.565m^2$

(コンクリート1m²当たり) $A = \pi *0.013*(1.00/0.125*1.00)$

野間沢橋 床版補修工図(2)

(下面增厚工法)

補強鉄筋配置図 S=1:10



数 量 表				
項目	規格	単位	数量	摘 要
樹脂導入路設置工	カッターエ (深さ7~8mm)	m	1050.4	300mm間隔
下地処理工	サンタ゛ーケレン	m2	303.0	
溶接網鉄筋取付工	D6 × 50mm, D6 × 50mm	m2	303.0	SD295A
アンカー打設工	テーパー付きT型(ネジ式)(φ8×60)	本	4080	
樹脂注入器具打設工	テーパー付きΤ型 (φ8×60L)	本	1768	
防錆材塗布工	FMJ° 517-	m2	303.0	0.3kg/m2
ホゼン材#10 吹付工	t = 18mm	m2	303.0	32.4kg/m2
樹脂注入工	超低粘度エポキシ樹脂	m2	303.0	
表面仕上げ工	ホ ゼン材 # 1	m2	303.0	0.75kg/m2

下面增厚工法施工順序

- 1. 樹脂導入路設置工(カッターエ)
- 2. 下地処理工(サンダーケレン)
- 3. 溶接網鉄筋取付エ・アンカー打設エ・樹脂注入器具打設工
- 4. 防錆材塗布工 (0.3kg/m2)
- 5. ホゼン材#10 吹付工 (32.4kg/m2)
- 6. 樹脂注入工(超低粘度エポキシ樹脂)
- 7. 表面仕上げ工 (0.75kg/m2)

アンカー配列図 (例) S=1:20

溶接網鉄筋 D6×50mm(SD295A)

主鉄筋(橋軸直角方向)

橋軸直角方向 2950 25 250 $8 \times 300 = 2400$ テーパー付きT型アンカー 樹脂注入器具 樹脂導入路 上フランシ゛ $3 \times 600 = 1800$ 樹脂注入器具間隔 425 $3 \times 600 = 1800$ 550 175 樹脂注入器具間隔 150 250 $7 \times 300 = 2100$ 250 200 樹脂導入路間隔

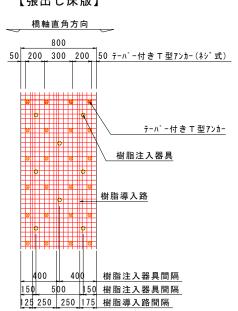
ctc300

(樹脂導入路ピッチ) (固定用アンカーピッチ)

【中間床版】

ctc300

【張出し床版】

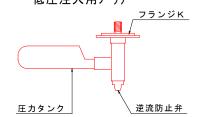


テーハ°ー付き T 型 アンカー (ネジ式) S=1:1

 $(\phi 8 \times 60)$ 43 ϕ 12 ϕ 24

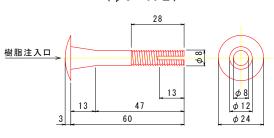
※アンカーは必ず溶接網鉄筋の交点に打設し アンカー本体と鉄筋に、接点があるものとする。

低粘度Iポキシ樹脂 S=1:2 低圧注入用プラグ



樹脂注入器具 S=1:1

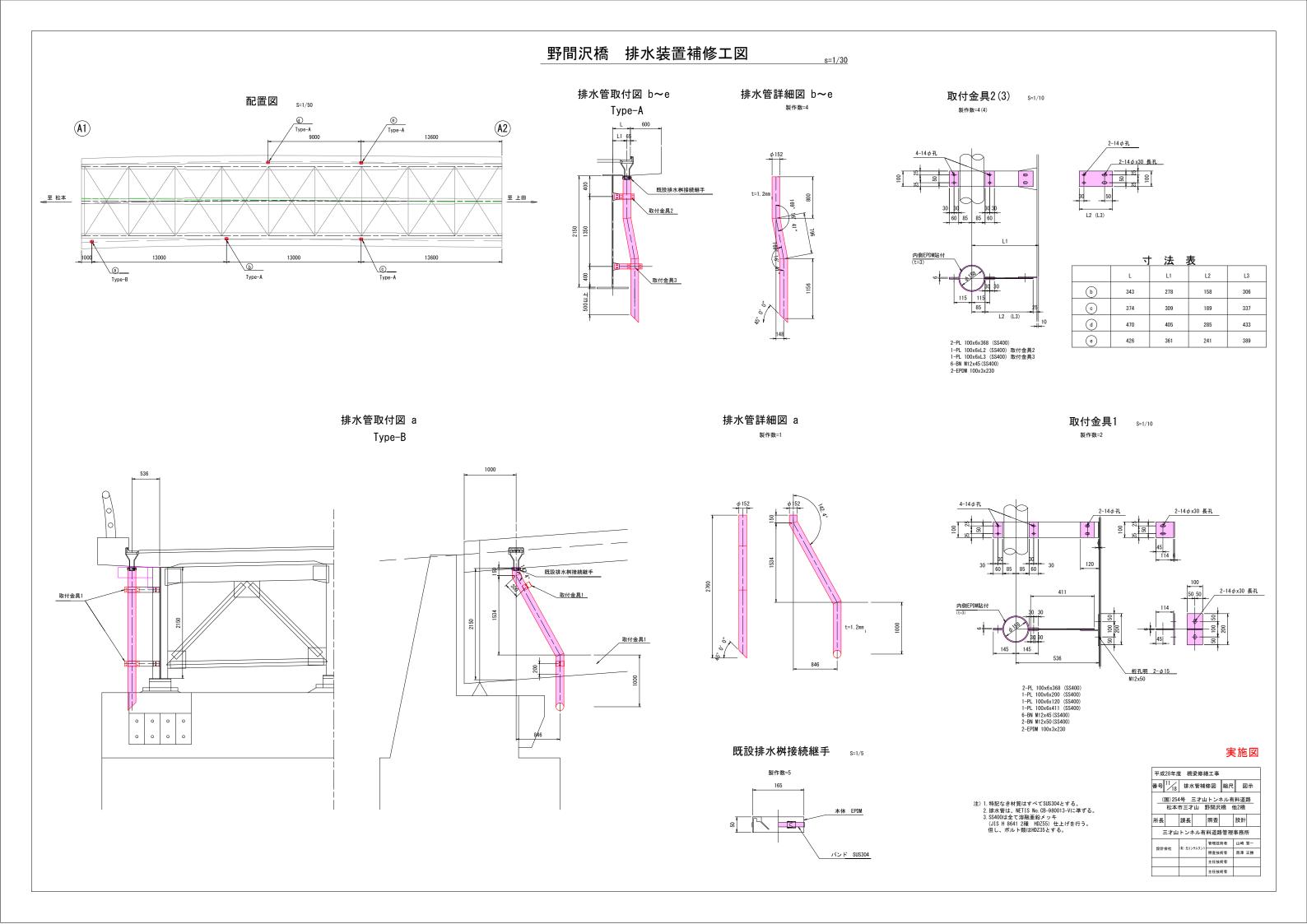
 $(\phi 8 \times 60 L)$



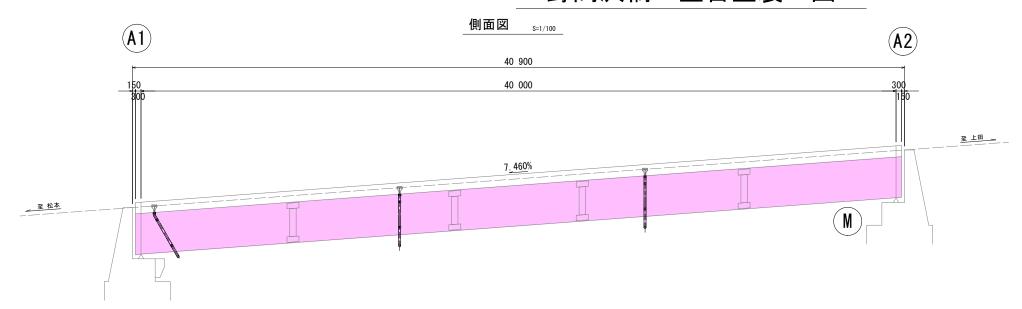
- 1. 溶接網鉄筋の重ね継手長は30 d 以上とする。
- 2. テーパー付きT型アンカー(ネジ式)(FMS-8)の本数は、溶接網鉄筋の 重ね継手により変更あるものとする。
- 3. テーパー付きT型アンカー(ネジ式)(FMS-8)の打設は、内側(センター)付近から 外方向へ溶接網鉄筋に緊張を与えながら順次打設する。

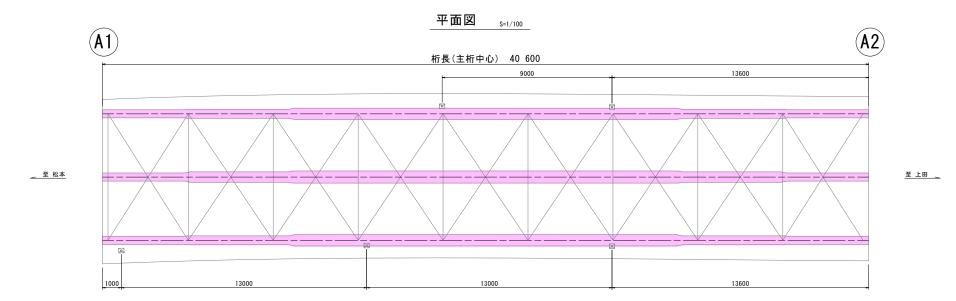
実施図

		き 橋	梁修絲	善工事			
番号	10/18	床版	甫修工	図(2)	縮尺	区	示
(国)254号 三才山トンネル有料道路 松本市三才山 野間沢橋 他2橋							
所長		課長		照査		設計	
三才山トンネル有料道路管理事務所						Г	
-0.41		(#) (to)	#1 51.1	管理技	術者	山崎	W-
設計会社		(有) 光コンサルタント		照查技術者		西澤	正勝
				主任技	術者		
				主任技	術者		



野間沢橋 塗替塗装工図





塗装仕様

_ _		
塗装工程	塗料名	塗装間隔
素地調整	3種 (ワイヤーブラシ,スクレイバー,ケレン棒など)	4年88以由
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	4時間以内
	(鋼板露出部のみ)	1日~10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	ТДТОП
± /	37日刊ルダはエハ(フ国店主行	1日~10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	10 100
1. 至 7	初作州沙及江土小、〇河加土竹	1日~10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	ТПТТОП
T 至 /	38/日月リルの フボロルロエイコ	
上 塗 り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	1日~10日

※鋼道路橋塗装-防食便覧(H17.12)日本道路協会 (II-95)

各塗料の標準使用量と標準膜厚

	標準使用		
塗装方法 	はけ・ ローラー	エアレス スプレー	標準膜厚 (μm)
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	240	60
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	140	170	30
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	140	25

※鋼道路橋塗装-防食便覧(H17.12)日本道路協会 (II-74)

塗装面積総括表(m²)

項目	部位	面積
外面塗装 現場塗	主 桁	862. 75
	対 傾 構	97. 20
	分配横桁	70. 10
	横構	96. 19
	合計	1126. 24

※塗装面積数量は、昭和48年設計図書を基に算出した。

涂替塗装工数量表

王日王衣工》	<u> </u>		_		
工種	種別-細別	規格	単位	算 式	数量
塗装工	素地調整	3種ケレンA	m²	A = 1126. 24	1126. 24
(塗替塗装)	下塗り	弱溶剤型変性エポキシ樹脂塗料	m²	A = 1126. 24	1126. 24
塗装系: Rc-III (3種)	中塗り	弱溶剤型ふっ素樹脂塗料	m²	A = 1126. 24	1126. 24
	上塗り	弱溶剤型ふっ素樹脂塗料	m²	A = 1126. 24	1126. 24

【特記事項】

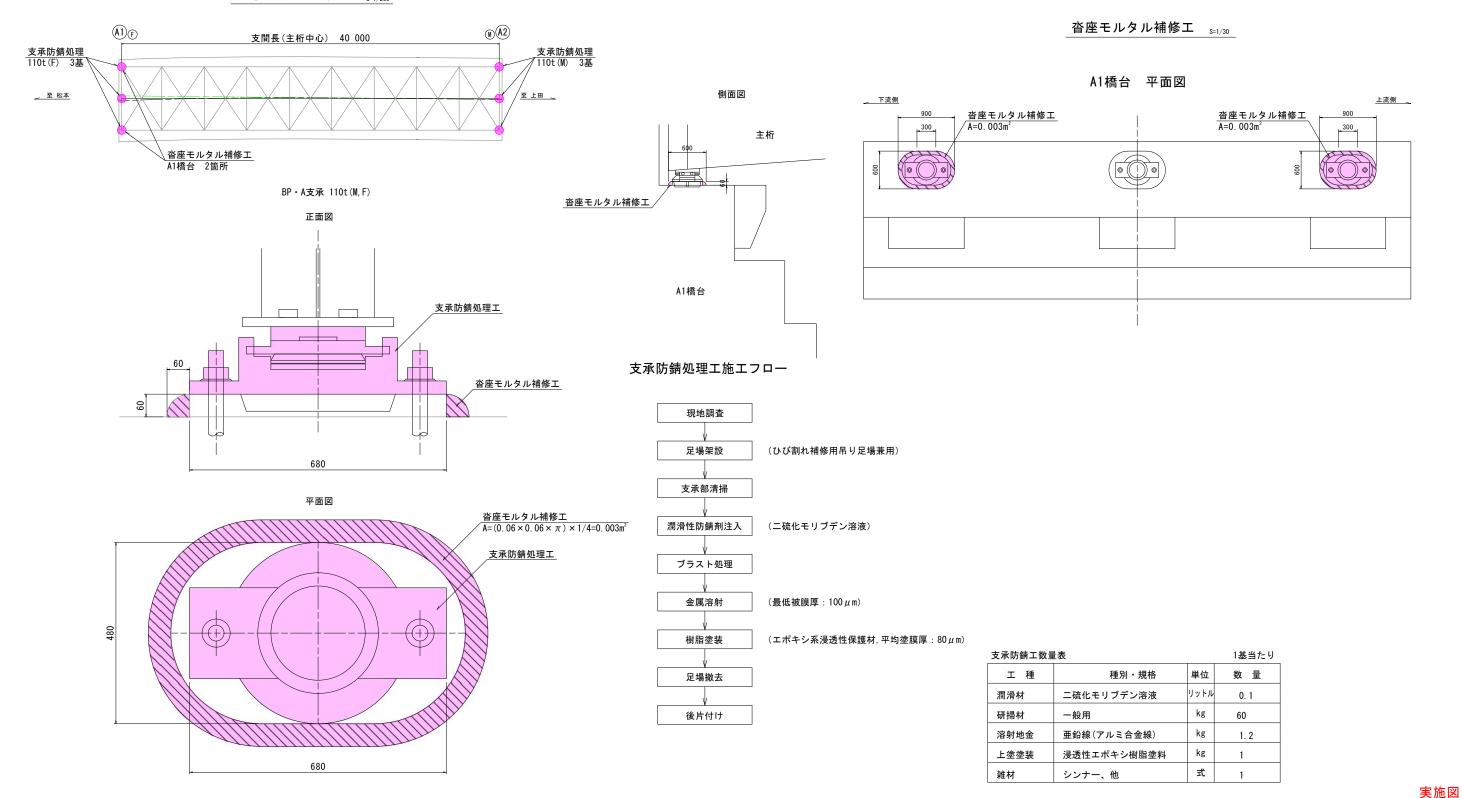
1. 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。

実施図

平成	28年月	き 橋	梁修絲	善工事			
番号	12/18	塗粒	塗装	工図	縮尺	図	示
_([トン			路
所長		課長		照査		設計	
3	Ξ才山	トンキ	トル有	料道路	管理	事務用	Г
10 11 -		(有) 光コン	#1 51.1	管理技	術者	山崎	W-
ax at s	〒11	(州) 元二二	77777	照查技	術者	西澤	正勝
				主任技	術者		
				主任技	術者		

野間沢橋 支承補修工図

支承補修工 位置図 _{S=1/200}



支承防錆工数量集計表

位 置		基			
江里	種 類	反 力	支承条件	基	
A1	支承板支承(BP·A)	110 t	F	3	
A2	支承板支承(BP·A)	110 t	М	3	
,	· 合 計			6	

支承補修工数量表

<u> </u>	- <u>»</u> -»				
工種	種別-細別	規 格	単位	算 式	数量
支承補修工	支承防錆工	金属溶射 反力-110t	基	N=6	6
	沓座モルタル補修工	無収縮モルタル	m³	$V=(0.6 \times \pi +0.30 \times 2) \times 0.003 \times 2$	0. 01

【特記事項】

1. 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。

 平成28年度 橋梁修繕工事

 番号
 13/8
 支承補修図
 縮尺
 図示

 (国)254号
 三才山トンネル有料道路

 松本市三才山 野開沢橋 他2橋

 所長
 課長
 照査
 設計

 三才山トンネル有料道路管理事務所

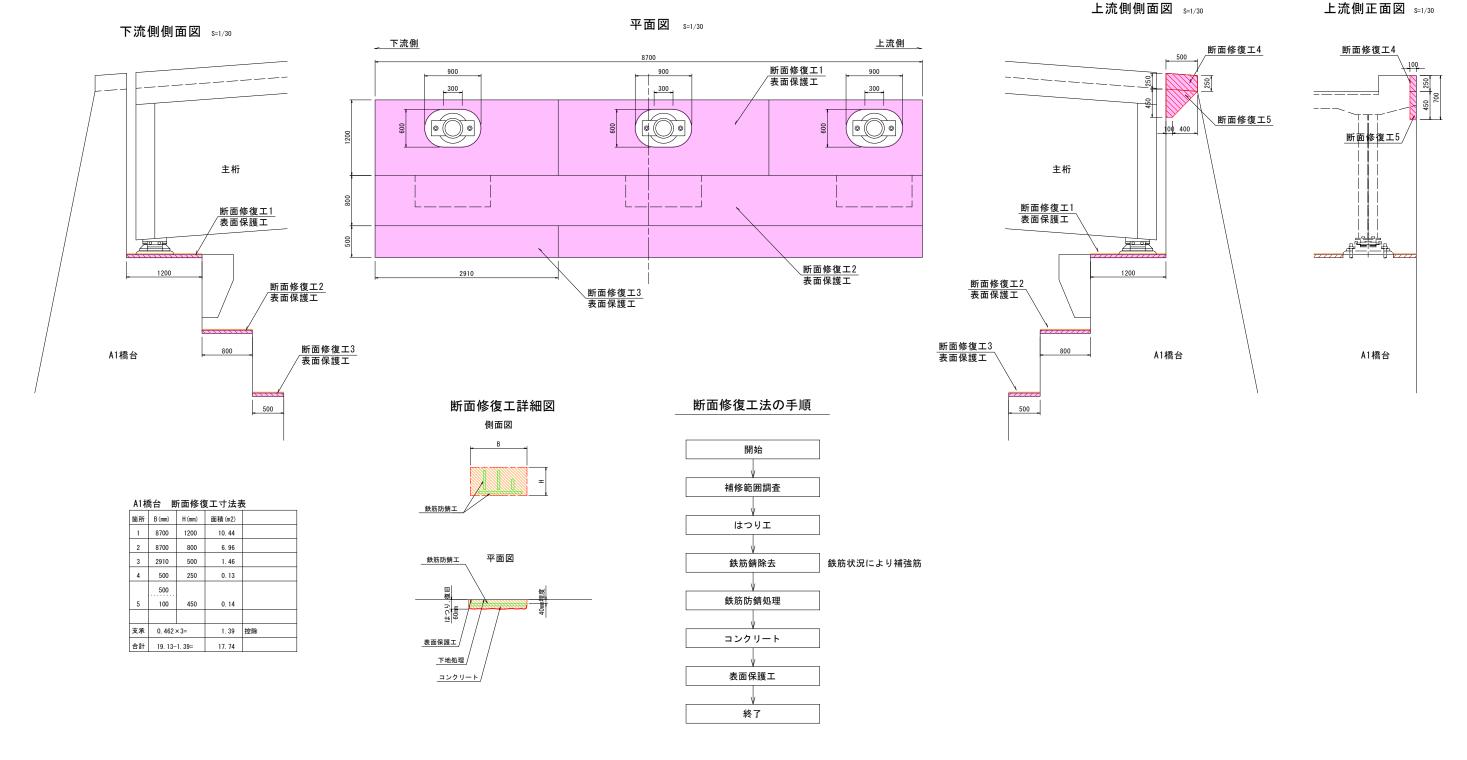
 管理技術者
 山崎 夏一

 並行技術者

 本任技術者

野間沢橋 下部工補修図(1)

A1橋台補修工



A1橋台補修工数量表

··· [6]						
工種	種別-細別	規 格	単位	算 式	数量	
橋台補修工					48. 6	
	はつりエ	はつり深さ 60mm	m²	A=17. 74	17. 7	
	鉄筋防錆工		m²	$A=17. 74 \times 0.545 (\text{m}^2/\text{m}^2)$	10. 4	
	コンクリート	24-8-25BB	m²	V=17. 74 × 0. 06 (t)	1. 06	
	下地処理	コンクリート研掃	m²	A=17. 74	17. 7	
表面保護工	含浸材塗布	シラン系	m²		17. 7	

【特記事項】

- 1. 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。
- 2. 鉄筋防錆工面積は単位面積当たりで換算して算出する。配筋は、 縦横D13@150と 仮定して、以下のとおり算出した。 (コンクリート1m²当たり) A= π *0.013*(1.00/0.150*1.00*2)=0.545m²

A3版出力の場合、縮尺は50%となる。

平成	平成28年度 橋梁修繕工事								
番号 14/18 下部工補修図(1) 縮尺 図示									
_([(国)254号 三才山トンネル有料道路 松本市三才山 野間沢橋 他2橋								
所長		課長		照査		設計			
Ξ	三才山トンネル有料道路管理事務所								
#D-#4	0-24	(a) +-1	#1L47.k	管理技	術者	山崎	賢-		

照查技術者 西澤 正勝

主任技術者 主任技術者

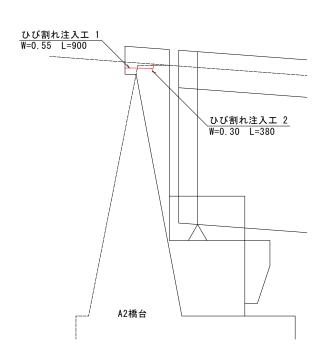
設計会社

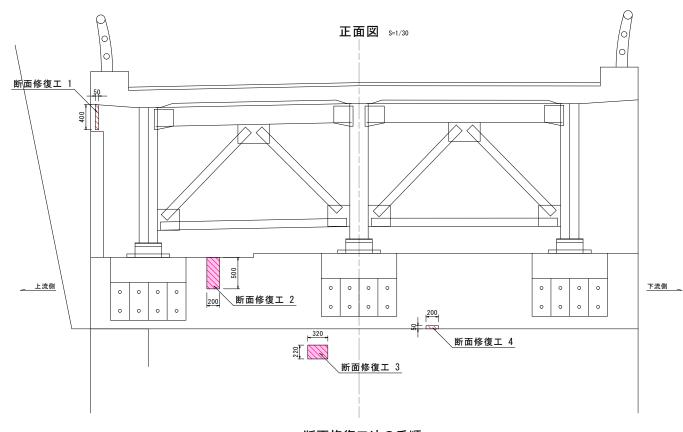
実施図

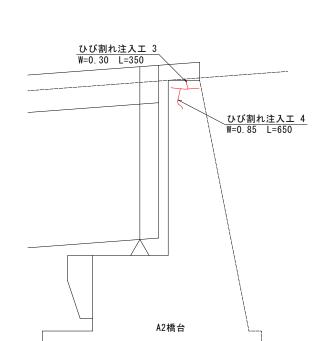
野間沢橋 下部工補修図(2)

A2橋台補修工

下流側断面図 s=1/30



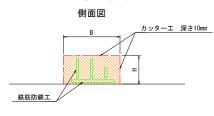


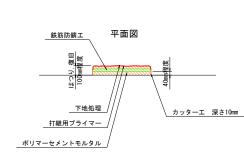


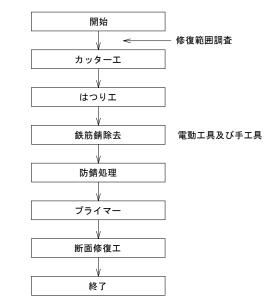
上流側断面図 s=1/30

断面修復工法の手順

断面修復工詳細図







箇所	B (mm)	H (mm)	面積(m2)	カッター延長(m)
1	50	400	0. 02	0. 90
2	200	500	0. 10	1. 40
3	320	220	0. 07	1.08
4	200	50	0. 01	0. 50
	合 計		0. 20	3. 88

A2橋台 断面修復工寸法表

※カッター延長の対象辺数は部位により異なる。

A2橋台補修工数量表

八と11月日 11月19日	- <u> </u>				
エ 種	種別−細別	規 格	単位	算 式	数量
断面修復工	カッターエ	深さ10mm	m	L=3. 88	3. 88
	はつりエ	はつり深さ 60mm程度	m ³	V=0. 20 × 0. 06 (t)	0. 012
	鉄筋防錆工	エマコ200相当	m²	A=0. $20 \times 0.545 (\text{m}^2/\text{m}^2)$	0. 11
			m²	A=0. 20	0. 20
	断面修復工	ポリマーセメント	m³	V=0. 20 × 0. 06 (t)	0. 012

【特記事項】

- 1. 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。
- 2. 鉄筋防錆工面積は単位面積当たりで換算して算出する。配筋は、 縦横D13@150と 仮定して、以下のとおり算出した。 (コンクリート1m²当たり) $A = \pi *0.013*(1.00/0.150*1.00*2) = 0.545m^2$

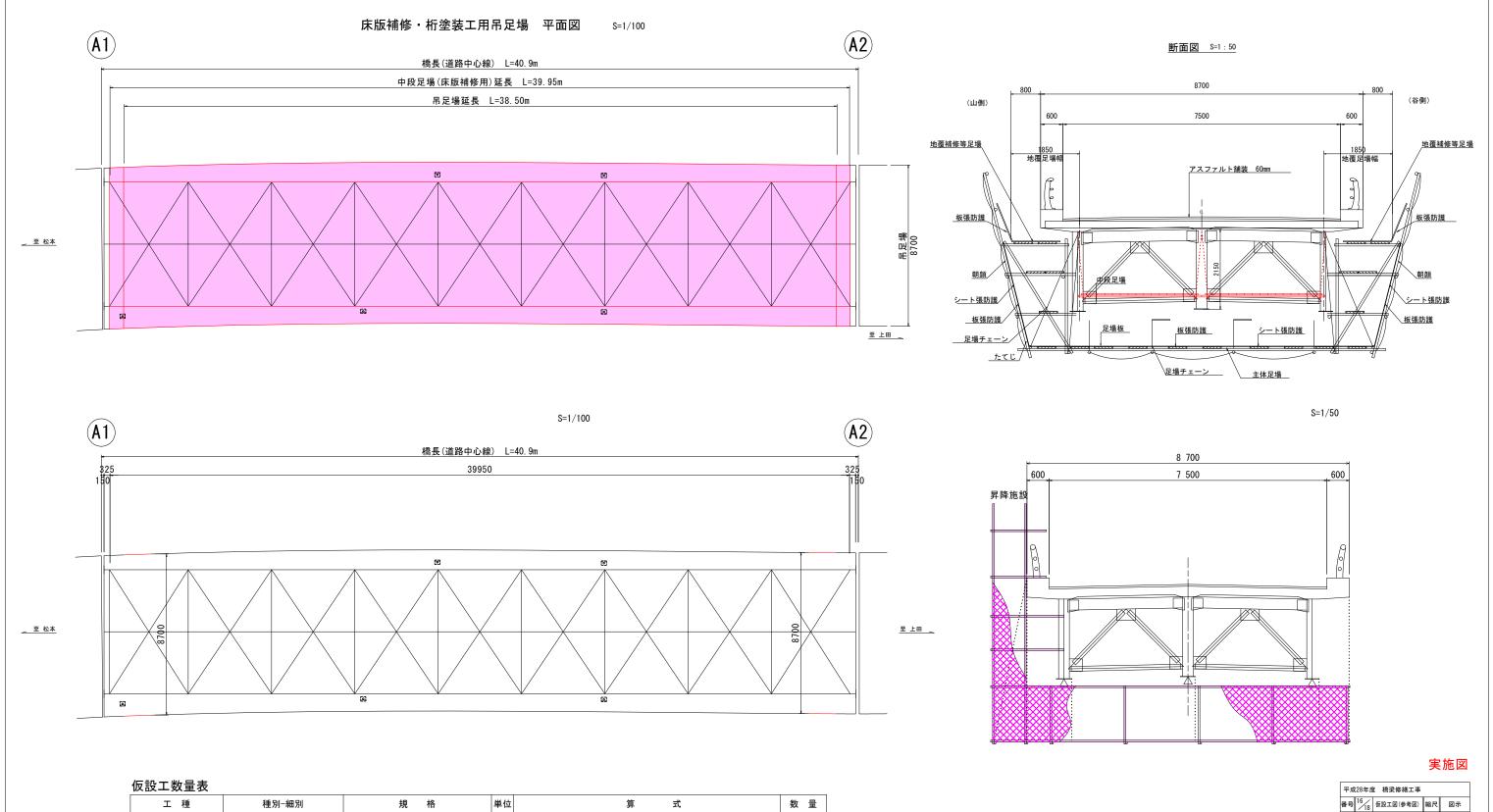
A3版出力の場合、縮尺は50%となる。

平成	平成28年度 橋梁修繕工事								
番号 15 18 下部工補修図(2) 縮尺 図示									
_([(国)254号 三才山トンネル有料道路 松本市三才山 野間沢橋 他2橋								
所長		課長		照査		設計			
Ξ	三才山トンネル有料道路管理事務所								
*0.*1	設計会社 (有) 光コンサルタント 管理技術者 山崎 賢一								
ax at:	#11	(有) 光コンサルタント		照査技術者		西澤	正勝		
1									

主任技術者

実施図

野間沢橋 仮設工図(参考図)



桁塗装・床板補修用

地覆補修用

足場工

吊足場

中段足場

朝顔・板張防護

吊足場·板張防護

 $A=8.70 \times 39.95$

 $A=8.70 \times 39.95$

 $A=8.70 \times 39.95$

 $A=1.85 \times 38.50 \times 2$

【特記車項

347. 6

347. 6

347. 6

142.5

1. 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。

(国) 254号 三才山トンホル有料道路 松本市三才山 野間沢橋 他と橋 所長 課長 照査 設計 三才山トンネル有料道路管理事務所 ^{設計会社} (第1 51274572) 照査技術者 山崎 東一 照査技術者 西澤 正勝

主任技術者

2事項】